

# つるかめPART II

(2019年10月21日)

令和元年度 No.15 校長室だより

鹿屋市立串良小学校長

## 子どもに「生きる力」を身につけさせよう！

子どもに、「生きる力」(耐える力、共感する力、柔軟性、コミュニケーション能力等)を身につけさせるためには、日々の生活の中で、年齢に応じた各種体験を積むことが大切だといわれています。そのために、必要な心構えとはどんなことでしょうか？

### ① 便利は人を育てない！

人間の生活はずいぶん便利になってきましたが、人間関係はそうはいきません。人と人が触れ合うことで人間関係能力が向上します。人間関係も楽器の演奏やスポーツの上達と同じように、学校や地域などで、人と人が触れ合うという練習を積み重ねて、獲得していきます。同年代はもちろんのこと、異年齢(幼児から高齢者)による触れ合いも重要になってきます。(学校生活はもちろんのこと、子ども会活動等地域活動もかなり大切です！)

### ② 色々な人と「生き合う」感覚を育てよう！

人間は決して一人では生きていくことはできません。必ず、何らかの関係性があります。自分が生きていくためには、いつも「他者」を意識させること(生き合う感覚)が大切です。

### ③ トラブルが子どもを育てる！

自分の思い通りにいく人生はほとんどありません。様々なトラブルはつきものですが、保護者によってはそのトラブルを事前に回避したり、手を回したりすることを愛情と考えている方がいるかもしれませんが、これでは逆に子どもは育ちません。「生きる力」は失敗や苦勞などを通して、子ども自らに獲得させていくことが最も大切です。(子育ての最終目標は自立&自律)

※ 学校や地域などで、子どもにトラブルが発生したら、「子どもが成長するチャンス」と考え、できるだけ、子どもを前面に出し、親はあまり前に出過ぎないことが肝要です！また、子どもの言い分は「自分に有利」に言うことがほとんどです。子どもを信じながらも、一歩引いた目で見ることが大切です。

※ もし、学校生活等で疑問や不満等が生じましたら、まずは担任に御相談ください。また、11月は「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」(11月1日～7日の平日9:50～15:00)となっており、各教室を自由に参観することができます。加えて、放課後等に「教育相談」も実施することになっておりますので、ぜひ、希望していただき御活用ください。

※ 本校の職員は、子どもたちのために精一杯取り組んでいます。職員と保護者、地域の方とが手を取り合って、子どもたちの大きな成長を見守っていきましょう！

## 修学旅行の思い出

先日、6年生は修学旅行で熊本・福岡方面に行ってきました。その中で、私が感心だったなあと思ったことは、集合時刻をしっかりと守れたことです。時間を守れない子がいるとその後の行程に不都合が生じますし、何といたっても注意や説教ばかりになって子どもたちも引率者も楽しくなくなってしまいます。しかし、そのようなこともなく、予定通りにケガや事故もなく帰って来られたことが最高の思い出となりました。帰って来た日は、各家庭で土産話に花が咲いたことでしょうね。

これからも日常の活動から大きな行事まで、様々な教育活動が実施されます。6年生には、最上級生としての自覚をもってこれからも活躍してほしいと思います。期待しています！



JRCの態度目標(気づき 考え 実行する)